

## 香川県教育委員会 11月定例会会議録

1. 開催日時 令和元年11月20日(水)  
開 会 午前 9時00分  
閉 会 午前10時10分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

教育長	工 代 祐 司
委員	小 坂 真 智 子
委員	平 野 美 紀
委員	槇 田 實
委員	藤 澤 茜

4. 教育長及び委員以外の出席者

理事	松 原 文 士
教育次長兼政策調整監	井 元 多 恵
総務課長	白 井 道 代
義務教育課長	小 柳 和 代
高校教育課長	金 子 達 雄
特別支援教育課長	廣 瀬 尚 子
保健体育課長	宮 滝 寛 己
生涯学習・文化財課長	原 田 智
人権・同和教育課長	高 倉 和 弘
教育センター所長	真 鍋 佳 樹
政策主幹兼総務課副課長	石 川 史 郎
義務教育課長補佐	三 好 健 浩
高校教育課長補佐	佐 藤 浩 基
高校教育課長補佐	吉 田 稔
特別支援教育課長補佐	藤 島 康 浩
保健体育課長補佐	和 田 州 弘
生涯学習・文化財課長補佐	中 川 聡 朗
総務課副主幹	増 田 大 輔

総務課副主幹	柳 澤 紀 子
特別支援教育課副主幹(兼)主任指導主事	藤 田 明
義務教育課主任管理主事	長 町 裕 子
高校教育課主任管理主事	山 田 憲 治
高校教育課主任指導主事	亀 田 龍 輔
特別支援教育課主任指導主事	三 宅 貴 将
高校教育課主任	高 森 俊 介
総務課主任主事	矢 野 勝 也

傍聴人 なし

#### 5. 会議録の承認

10月定例会の会議録署名委員の小坂委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

#### 6. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議案第1号は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「国の機関の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの」に該当するため、非公開としたい旨を發議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

#### 7. 議 案

○議案第1号 令和元年11月香川県議会定例会に提案される教育委員会関係議案に対する意見について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第2号 期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部改正について

総務課長から、期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部改正について諮る旨、説明。

【質疑】 無し

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第3号 令和2年4月公立学校教職員人事異動基本方針について

義務教育課長及び高校教育課長から、令和2年4月公立学校教職員人事異動基本方針について諮る旨、説明。

【質疑】

＜平野委員＞変更点に関してではないが、管理職の登用について、資料に年齢・性別にとられることなくとの記載があるが、県立高校の校長には本当に女性が少ないので、残念に思っている。もっと積極的な登用をお願いしたい。

＜高校教育課長＞校長になる以前に教頭になる必要があるが、その一つ前の段階である校内の各分掌の部長にも女性が少ない状況にあり、そこに積極的に登用できるようにしていきたい。

＜小坂委員＞県立学校と高松第一高校との間で、これまでの人事交流ではなく、人事異動を一体化させるとの説明があったが、これは双方にとって非常に良いことだと思うが、実際の異動に際して、対象となる教員本人から事前の同意は取るのか。

＜高校教育課長＞これまでの人事交流では同意を取っていたが、今後は事前の内諾は取らず、県立学校と同様に3月末の異動発表で、一斉に発表することとしている。

＜藤澤委員＞資料の中に「児童生徒」と記載されている箇所と「生徒」と記載されている箇所があるが、この記載が違う理由は何か。

＜高校教育課長＞記載内容が高校を対象としている箇所は「生徒」、特別支援学校も含む県立学校を対象としている箇所は「児童生徒」としている。

＜教育長＞「各学校が活力に満ち、生徒の多様なニーズに応じた学びが展開」との記載内容であれば、特別支援学校の小学部が含まれても問題はないのではないか。

＜高校教育課長＞該当箇所の記載を「児童生徒」に変更する。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第4号 令和2年度における県立学校の生徒及び幼児の定員について

高校教育課長から、県立高校の入学定員については、地区ごとの中学校卒業予定者数や普通科と職業科の定員比率等を勘案した上で定めることなどを説明し、令和2年度における県立高校の生徒の定員について諮る旨、説明。

特別支援教育課長から、特別支援学校の高等部の定員については、体験入学や教育相談の実施等を通じて入学希望者数を把握した上で定めることなどを説明し、令和2年度における特別支援学校の生徒及び幼児の定員について諮る旨、説明。

### 【質疑】

＜小坂委員＞高松北中から103名が高松北高校に進学するとのことであるが、高松北高校に進学しない16名は、どのような理由で、どの高校に進学するのか。他の普通科の高校に進学する生徒もいるのか。

＜高校教育課長＞正確な数字は持ち合わせていないが、以前は高松高校や高松第一高校に20名から30名が進学していたが、最近はそのような生徒は徐々に減っており、高松北高校以外の普通科高校への進学を希望するというよりは、スポーツ分野で高松商業高校や高松工芸高校に行く生徒の割合が増えている。また、6年間続く人間関係が原因で他校に進学する事例もあるが、以前のように進学を目的に他校に行くという傾向は少なくなっている。

＜小坂委員＞小豆島中央高校の定員設定については、島内の中学生の人数を基に決めているという説明であったが、島外からの入学希望については考慮していないのか。

＜高校教育課長＞小豆島中央高校は生徒寮もあり、島外から入学する生徒がいることも考えられるため、島外から入学する生徒数がある程度見込んで設定している。また、島内から島外の高校へ進学する生徒もいるため、このことも加味している。

＜教育長＞今年度の定員については、高松地区の増加があったことから、全県では前年度に比べて5人の増加となっているが、来年度は減少になるのか。

＜高校教育課長＞来年度の定員は、県下全体としてもかなりの減少となるが、特に高松地区で250人を超える減少が予想されている。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

### 8. その他事項

○その他事項1 令和2年度香川県公立学校教員採用選考試験「秋募集」の結果について

義務教育課長から、令和2年度香川県公立学校教員採用選考試験「秋募集」の結果について説明。

### 【質疑・意見交換】

＜教育長＞結果としては、しっかりした方に来てもらえたということで良いか。

＜義務教育課長＞他県の現職教員で学年主任を務めている方もおり、即戦力として香川県でも働いてもらえる方たちが来てくれたと考えている。

＜小坂委員＞合格者8名の中に、香川県の出身者はいるのか。

＜義務教育課長＞受験者9名のうち、香川県の高校を卒業した方が4名いる。それらの方は、年代的に小学校の教員採用試験の倍率が高い時代に香川県でも受験したものの、他県で合格したことから、そのまま合格した県で教員として勤務していたが、年齢的なものもあって出身地の香川県に戻りたいと考え、今回の「秋募集」を受験した方もいる。

<教育長>他の5名の方は、香川県とは縁のない方なのか。

<義務教育課長>全く香川県と縁のない方もいる。

<教育長>そのような方が受験した動機は何なのか。

<義務教育課長>出身高校は香川県ではないが、自分が小中学校時代に暮らしていた時の良い思い出がある香川県で教員をしたかったという方もいれば、中には他県で教員をしているが、自分の求める学校教育のあり方や子どもの指導方法について、他県の教育委員会のホームページを参考に見ている中で、充実した取り組みをしているいくつかの県の中に香川県教育委員会があり、そのホームページを何度か見ているうちに、ある日「秋募集」の募集要項を見つけたので準備を始めたという方もいた。多くの方が、ホームページを見たことがきっかけになったようである。

- その他事項2 令和3年度香川県公立学校教員採用選考試験の日程について  
高校教育課長から、令和3年度香川県公立学校教員採用選考試験の日程について説明。

【質疑・意見交換】 無し

- その他事項3 令和2年3月香川県公立高等学校卒業予定者の就職内定状況について

高校教育課長から、令和2年3月香川県公立高等学校卒業予定者の就職内定状況について説明。

【質疑・意見交換】

<榎田委員>総合学科とはどういうものか。

<高校教育課長>総合学科は、県内では三木高校、飯山高校、観音寺総合高校の3校にあり、カリキュラム的には普通科と良く似ているが、大学のように単位制になっている。一応、1年生、2年生、3年生という学年はあるが、学年に関係なく単位を取得していき、必要な総単位を取得して卒業するというシステムを採っているのが総合学科である。通常の普通科であれば、各学年で必要な単位が取得できなければ上の学年に上がれないが、総合学科では、1年生で取れなかった単位を2年生になってから取得することが可能となっている点が総合学科の特徴となっている。

<藤澤委員>昨年度に比べて、家庭科の内定率が低いのは、何か原因があるのか。

<高校教育課職員>今回報告している内定率は、10月末時点での数値であり、現時点では就職希望者25人のうち22人、88パーセントの就職が内定している状況である。